

三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	JR 青梅線「御嶽駅」下車徒歩 20 分
4	青梅市郷土博物館	① JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分 ② JR 青梅線「青梅駅」から都バス「駒木町循環」(梅 77 系統)に乗り、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約 5 分
5	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
6	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅東口」コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR 中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
8	八王子市郷土資料館	① JR「八王子駅」南口から徒歩 15 分 ② JR「八王子駅」南口 7 番乗り場からバス「東京家政学院」または「法政大学」行き「上野町三丁目」下車徒歩 3 分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分 ② JR 八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
10	福生市郷土資料室	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
11	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
13	立川市歴史民俗資料館	① JR 中央線「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR 中央線「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車、徒歩 20 分
14	日野市郷土資料館	①多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ②モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
15	首都大学東京 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
16	帝京大学総合博物館	①多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分 ②京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車
17	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
18	東村山ふるさと歴史館	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
19	国立ハンセン病資料館	①西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ②「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分 (いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
20	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 8 分
21	たましん歴史・美術館	JR 中央線「国立駅」南口前
22	パルテノン多摩歴史ミュージアム	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5 分
23	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
24	町田市立博物館	小田急線・JR 横浜線「町田駅」より町田バスセンター 11 番乗り場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
25	町田市民文学館ことばらんど	小田急線町田駅東口から徒歩 12 分、JR 町田駅ターミナル口から徒歩 8 分
26	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南部線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き 6 分、「郷土の森正門前」下車すぐ
27	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
28	江戸東京たてもの園	① JR 武蔵小金井駅北口バス 2 番 3 番停留所よりバス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ②西武新宿線花小金井駅南口より徒歩 5 分「南花小金井」(小金井街道沿い)停留所より「武蔵小金井駅」行バス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
29	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
30	清瀬市郷土博物館	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 8 分 ②西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
31	多摩六都科学館	①西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ②西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」ともに北口よりはなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
32	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
33	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	①中央線三鷹駅南口または武蔵境駅南口より小田急バス国際基督教大学行にて終点下車 ②武蔵境駅からタクシーで 10 分
34	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	①JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩 12 分 ②武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
35	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)	①小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」より徒歩 10 分 ②小田急線「狛江駅」北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

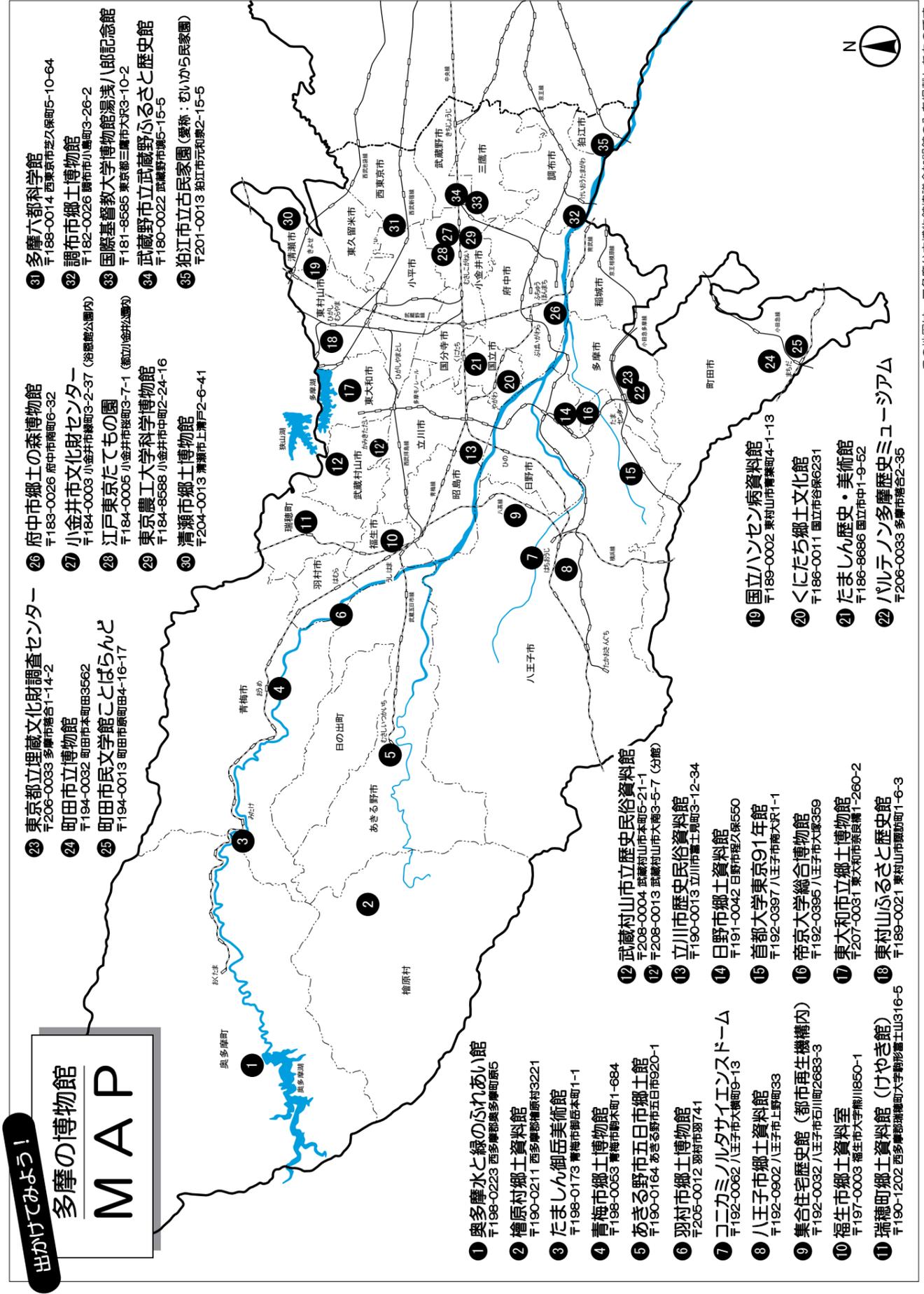
催し物案内2019年度春・夏号

2019年4月～9月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。
多摩地域の博物館をめぐってみませんか！



31 多摩六都科学館

世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30～17:00 (入館は16:00まで)	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、その他機器整備の休館あり (4.8～11.15～18、5.7～10、9.2～5)	入館料	大人500円、小人(4歳～高校生)200円 ※年間パスあり プラネタリウム、大型映像は別料金	☎	042-469-6100
------	-------------------------	-----	---	-----	--	---	--------------

- 春の特別企画展「ぶんぶん文房具展」(3.21～5.6) てのひらサイズで大きな世界を描くことができる道具、文房具。様々な「書く」「描く」「画く」体験から文房具に込められた技術の秘密にせまろう!
- ミニ企画展「科学の本棚～科学と出会う・世界と出会う～」(6.1～6.30) こどもがはじめて科学と出会う絵本から、科学者の進路を決めた一冊まで、さまざまな科学の本100冊を集めました。あなたの心に触れる「科学の本」をさがしてみませんか。
- 生解説プラネタリウム「月を目指した人々～アポロ計画から50年」(5.18～7.31)
- 大型映像「星の旅 世界編」(好評上映中 ※終了日未定)

【URL】 <https://www.tamarokuto.or.jp>

32 調布市郷土博物館

原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	-----------------------	-----	----	---	--------------

- 郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(1.8-5.12) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具を紹介します。
- 企画展「お米にまつわる調布ものがたり」(仮) (6.1-8.31) 米をテーマに、調布における商いや生産に関する資料などを紹介する予定です。

【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

33 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	10:00～17:00 (土曜日は16:30まで)	休館日	日曜・月曜・祝日・3月、7月の土曜日・展示準備期間 (特別展開催期間外)・夏期休暇中	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	---------------------------	-----	--	-----	----	---	--------------

- 特別展「諷刺画にみる幕末から明治の庶民」(4.9～7.12) 当館所蔵の作品を中心に、幕末から明治の庶民を生き生きと描いた諷刺画を紹介いたします。
- 公開講座「浮世明治維新一庶民から見た近代の分岐点」(6.1) M. ウィリアム・スティール本学名誉教授を講師に迎え、1868年を基点とした近代日本の混迷の様相を、当時江戸で次々に発刊された諷刺画から読みときます。
- 特別展「夜具—夜のしつらい」(9.10～11.8) 大胆な文様が染め抜かれた夜具地や夜着のほか、夜を過ごすための灯火具など、寝所のさまざまな調度をご覧ください。

【URL】 http://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/index.html

34 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館

武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜・祝日	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	-------	-----	----	---	--------------

特集展示「秋本家文書の世界」(4.13～6.13) 市内で伝存されてきた秋本家文書を取り上げて、古文書を学ぶ魅力や保存の大切さを紹介します。

企画展「資料に見る武蔵野の動物」(5.18～7.18) 人と動物の関わりは時代により移り変わってきました。当館所蔵の歴史民俗資料や歴史公文書から武蔵野における人と動物の関わりを紹介します。

特集展示「歴史公文書に見る改元」(6.29～8.29) 当市は明治22年(1889)の武蔵野村の設置以来、大正・昭和・平成・令和と4回の改元を経験し、これに関する文書を取得・作成してきました。本展では当館が所蔵する歴史公文書の中から改元にまつわる文書を紹介いたします。

企画展「郊外住宅地としての武蔵野の建物」(7.27～9.26) 関東大震災以降、現在の武蔵野市域は人口が増加し、宅地化が進行しました。今に残る大正末期から昭和初期に建てられた武蔵野の建物を、図面や写真、建築部材などから紹介します。

【URL】 http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/

35 狛江市立古民家園 (愛称: むいから民家園)

文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日 (休日にあたるときはその翌開園日)、年末年始 (12.28～1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--	-----	----	---	--------------

- 展示替え 長屋門納屋にて狛江の農業・養蚕・漁業に関わる資料を展示します。
- 年中行事展示 端午の節句には五月人形、七夕には七夕飾り、8月のお盆の時期には盆棚飾り、十五夜には月見団子を展示します。
- 教室・講座 草木染め教室や農具体験などを予定しています。また、夏休みの期間には、「むいから寺子屋」と題して、小・中学生を対象とした能楽や土器・勾玉作りなどの体験教室を予定しています。

※教室・講座の詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。

【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html>

26	府中市郷土の森博物館 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館	入館料	大人300円、中学生以下150円、4歳未満無料	☎	042-368-7921
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「大西浩次星景写真展-森から見上げた宇宙-」(4.6～7.15) 星と地上の景色を融合した星景写真の第3回目となる展示会です。森から見上げる宇宙の写真群をお楽しみください。 ●企画展「中世東国と改元」(7.27～10.27) 市内の発掘調査で見つかった「福德」という年号を刻んだ板碑などから中世東国の人びとの年号や改元に対する意識を探ります。 ●特別展「あしもとネイチャーワールド 多摩川夏のいきもの 左岸オールスターズ」(7.20～9.1) 夏の多摩川を賑わす魚類・昆虫・野鳥が大集合! 府中市南縁に位置する多摩川の生態系を通じて、変化する都市の河川環境を考察します。 ●あじさいまつり(5.25～6.30) 園内各所で一万株ものアジサイが白や赤、紫、青色に咲き誇ります。 【URL】http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html 							

27	小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)	入館料	無料	☎	042-383-1198
<p>当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●季節展「名勝小金井桜」(3.26～5.26) 玉川上水堤の桜並木の歴史を紹介 ●小金井市史刊行記念講演会(9月予定)『小金井市史』の完成を記念して編集委員らによる講演を行います 【URL】http://tamahaku.jp/kojin/ 							

28	江戸東京たてもの園 江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。						
開園時間	4月～9月: 9:30～17:30 (入園は17:00まで)	休園日	月曜日(祝日の場合は翌日) ※4.1・8・30は臨時開園	入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎	042-388-3300
<ul style="list-style-type: none"> ●展示室「武蔵野の歴史と民俗 - 「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち」(2.5～6.23) ●春夏の催し「こどもの日イベント」(5.4・5) 「夜間特別開園 たてもの園下町夕涼み」(8.3・4) 「綱島家年中行事」梅漬け・土干し(6月上・中旬～8月土用頃)、盆棚展示(7月～8月中旬頃)、十五夜飾り(9月中旬頃) 「ちょっと涼しいたてもの園」(7月下旬～9月上旬頃) ●定例の催し ミュージアムトーク(第4土曜日)、伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日) 【URL】https://www.tatemonoen.jp/ 							

29	東京農工大学科学博物館 繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。						
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日	日曜・月曜・祝日、5.31(創立記念日)等	入館料	常設展無料	☎	042-388-7163
<ul style="list-style-type: none"> ●5月25日(土) 国際博物館の日記念イベント開催 その他新着情報はHPをご覧ください。 【URL】http://www.tuat.ac.jp/~museum/ 							

30	清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 5.1(臨時休館)	入館料	無料	☎	042-493-8585
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「仄かな燦 遷う節 林亮太作品展」(5.11～6.2) 「映像で遊ぼう展」(7.27～8.18) ●事業 春コンサート(4.14) 夏のコンサート(7.25) ●先人の知恵に学ぶシリーズ 柏餅作り(5.16) ●講座 自然観察会(4.21) 文化財巡り(5.26) 【URL】http://www.city.kiyose.lg.jp/ 							

1	奥多摩水と緑のふれあい館 水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。						
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4	入館料	無料	☎	0428-86-2731
<p>奥多摩の自然とダムとの仕組みや水の大切さなどを紹介し、東京都の水源地である奥多摩町と水道を利用する都市住民とのふれあいの場として、奥多摩町の歴史・文化・郷土芸能・地場産業なども展示や映像などで分かりやすく紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●春の奥多摩ミニコンサート(4.13・14) 12:00～、13:30～ ソプラノ歌手による歌とマリンバ演奏 ●水道週間(6.1～7) ※(6.5)は臨時開館 10:00～16:00 アンケート調査と記念品の配布 ●夏のフラダンスショー(7.27) 11:30～ 13:30～ フラダンスショー ●ダム写真展(8.1～31) ダム関連の写真展 ●水源地郷土芸能公演(9.8)12:00～14:30 ころ 獅子舞 鹿島踊 【URL】http://www.okutama.gr.jp/ 							

2	檜原村郷土資料館 数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。						
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日	火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始	入館料	無料	☎	042-598-0880
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。 ●特別公開「小沢式三番能面」(4.20～6.30) 安永三年から同地区に受け継がれてきた能面「翁面・黒木尉面」の二点を展示します。 ●企画展「夏休み昆虫標本展」(7.28～8.31) 主に村内で採集された昆虫約450点を展示します。 【URL】http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html 							

3	たましん御岳美術館 明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。						
開館時間	10:00～16:30(11月～3月は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始冬季休館	入館料	一般500円、高大生400円、中学生300円	☎	0428-78-8814
<ul style="list-style-type: none"> ●平成31年度たましん御岳美術館後期展示「美と出逢う たましん御岳美術館展」(2.19～9.29) 常設展示 日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち—荻原守衛、中原悌二郎、高村光太郎など 倉田三郎記念室 倉田三郎 旅の素描—世界— ●スケッチの日「桜の日」(4.10)(4.11)※雨天決行 開催時間10:00～15:30(受付は15:00まで) 御岳溪谷の風景を楽しみながらスケッチしませんか? 画材は無料で貸出します。初めての方もお気軽にご参加ください。 【URL】http://www.tamashin.or.jp/mitake.html 							

4	青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29～1.3	入館料	無料	☎	0428-23-6859
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「甲冑武具展～青梅ゆかりの品々を中心に～」(4.20～6.16) 青梅ゆかりの品々を中心に甲冑武具を展示・紹介します。 ●企画展「青梅のいきもの」(6.29～9.23) 市内の生き物について、はく製、写真等を用いて解説するほか、生物多様性の現状や課題も紹介します。 【URL】http://www.ome-kyo.ed.jp/shakai/kyodo/index.html 							

5	あきる野市五日市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。						
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日(水曜日が祝日の場合は翌日も)、年末年始	入館料	無料	☎	042-596-4069
<ul style="list-style-type: none"> ●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。また、敷地内にある旧市倉家住宅では、年中行事展示(五月人形、鯉のぼり、七夕)を行います。 【URL】http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html 							

6	羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化、玉川上水と中里介山に関する資料を展示。						
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00 ※12月末まで一部閉館)	休館日	月曜日(祝日の場合は開館)、8.26～8.30と9.24～9.26(※工事予定) 12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-558-2561
<ul style="list-style-type: none"> ●企画展「漁撈具(仮)」(5.25～9.1) ●ミニ展示「玉川上水を調べよう!」(6.15～12.15) ●季節かざり「七夕かざり」(6.22～7.7) ●ミニ展示「まゆと私たちの暮らし」(8.3～8.31) ●季節かざり「お月見かざり」(9.7～9.15) ●特別展「着物のひな形(仮)」(9.14～12.22) 【URL】http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html 							

7	コニカミノルタ サイエンスドーム（八王子市こども科学館） プラネタリウムと基礎物理や宇宙を中心とした参加体験型の展示。
開館時間	10:00～17:00（ただし火～金曜 9:00～12:00） 休館日 月曜日、祝日の翌日など（夏休み期間は無し） 入館料 大人 200 円、4 歳～中学生 100 円（プラネタリウム料金別、セット割引有） ☎ 042-624-3311
<p>29 年 7 月に展示をリニューアル。1 階は未就学児もお楽しみいただける「遊びカガク」コーナー。2 階は国際宇宙ステーションの 1/10 模型と「シミュレーター ISS のミッションに挑戦」、「小惑星探査機はやぶさシミュレーター」、200 年前に落下した八王子隕石や 230 万年前のハチオウジゾウについて展示。</p> <p>●プラネタリウムでは一般向け番組は「しまじろうとたんじょうびのおほしさま」「ドラえもん－宇宙ふしぎ大探検 2」「忍たま乱太郎－月ウサギがクレーターをかけるの段」「オーロラ－生命の輝き」「スペースエイジ－宇宙を目指すものたち」を投影。月に一度、土曜日の夜 18 時から投影するトワイライトプラネタリウム、4 月～6 月は「FURUSATO－宇宙から見た世界遺産」。第四日曜日午後 3 時 50 分からは解説員による「全編生解説プラネタリウム」も好評。4 月～6 月のテーマは「黄道十二星座」。星占いの星座たちの成り立ちや歴史などを紹介します。●土日祝には親子で楽しめる「工作教室」「実験ショー」などを開催。</p> <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</p>	

8	八王子市郷土資料館 八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や機織の体験も。
開館時間	9:00～17:00 休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、その他館内整理日 入館料 無料 ☎ 042-622-8939
<p>●特別展「こども考古学教室 in 八王子（仮）」(7.19～9.1) 市内の遺跡から発掘された出土品をもとに、考古学の世界をのぞいてみましょう。</p> <p>●企画展「日本刀入門－館蔵品で知る－」(4.24～5.26) 日本刀についての初歩的な知識を、館蔵品でわかりやすく紹介します。</p> <p>●企画展「未来への贈り物～新収蔵展（前期）」(4.24～7.15) 平成 30 年度に資料館に寄贈された資料を展示します。</p> <p>●企画展「戦争と八王子（仮）」(7.19～9.1) 戦時下の八王子の人々の生活などをわかりやすく紹介します。</p> <p>【URL】http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kankobunka/003/005/p005312.html</p>	

9	集合住宅歴史館 （独立行政法人 都市再生機構） 歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。
開館時間	13:30～16:30 休館日 土・日曜日、祝日 入館料 無料 ※事前予約制 ☎ 042-644-3751
<p>●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。</p> <p>●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地 2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など</p> <p>●見学方法 事前予約制のため予め電話で申込みください。</p> <p>【URL】http://www.ur-net.go.jp/rd/</p>	

10	福生市郷土資料室 福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳枕倉の復元展示も行っています。
開館時間	10:00～17:00 休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日） 入館料 無料 ☎ 042-530-1120
<p>●企画展示 「子どもの学び—近現代教育の足跡—」(4.13～6.30) 江戸時代の庶民教育機関である寺子屋をはじめとして、明治期以降の近代教育が確立される過程において、学校の学びがどう変化したのか、史料や教科書を中心に近現代教育の軌跡をたどります。教育の歴史や福生の子どもの学びを知る機会として、皆様でご覧ください。</p> <p>●企画展示 「平和のための戦争資料展」(7.6～9.8) 毎年終戦の日に合わせて、平和の大切さを再認識することを目的とした展示を実施します。今年は、衣料切符や米穀通帳をはじめとした資料を通して、戦中、戦後の市民生活を考えます。</p> <p>●企画展示 「松下紀久雄むかし絵展」(仮) (9.14～11.24) 故松下紀久雄が描いた、多摩地域のむかし絵を展示します。</p> <p>【URL】http://www.museum.fussa.tokyo.jp</p>	

11	瑞穂町郷土資料館（けやき館） 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。
開館時間	10:00～21:00 休館日 第 3 月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、臨時休館日 入館料 無料（企画展は有料になることもあります。） ☎ 042-568-0634
<p>●企画展「みずほの野鳥」(4.16～6.16、前期 4.16～5.19、後期 5.21～6.16) 瑞穂町には狭山丘陵、平地林、住宅地など多様な環境があり、そこには多様な生きものが棲息しています。今回の展示では、瑞穂の野鳥の写真約 100 点を選び、瑞穂の野鳥を紹介するとともに、瑞穂町の自然について解説します。</p> <p>●企画展「村瀬継蔵展」(7 月～9 月（予定）) 日本特撮映画で黎明期より活躍した、造形師村瀬継蔵氏は今日でも第一線で活躍しています。瑞穂町を拠点に活動する村瀬氏のこれまでの仕事とそのあゆみを写真と造形物を中心に振り返ります。</p> <p>【URL】http://mizuhokyodo.jp</p>	

22	パルテノン多摩歴史ミュージアム 多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。
開館時間	10:00～18:00 休館日 不定休 (4.17-18、5.15-16、6.12-13、7.16-18、8.13-14、9.17-18) 入館料 無料 ☎ 042-375-1414
<p>●特別展「刀鍛冶と文明開化～明治期・多摩の冨田鍛冶の渡米に見る海外技術導入～」(4.20～7.15) 幕末に農兵隊や新選組などの刀鍛冶として活躍した多摩の「冨田鍛冶」が、明治 13 年に渡米し、帰国後、自転車遠乗りの世話人や自転車輸入販売をおこなう姿を通して、新たな海外技術を人々がどのように導入したのかを見てみます。第二会場では、東京 2020 オリンピック競技大会開催を記念して、自転車遠乗りの歴史やロードレースのルートなどをご紹介します。</p> <p>●特別展関連講座・講演会 (5 月～7 月) 詳細は HP をご確認ください。</p> <p>●4 階廻廊展示「ヨーロッパの街中のみどり～UR 都市機構寄贈資料より～」(開催中～9.23) 当館に寄贈された UR 都市機構の写真資料から、今回は日本のニュータウンの街作りの参考資料としてヨーロッパの街中で撮影された、花壇や窓辺の花々などの写真を紹介します。</p> <p>●企画コーナー展示「多摩ニュータウン・トイレ大全(仮)」(7/19～) 多摩ニュータウンの公園にある公衆トイレ建築を紹介。</p> <p>●みんなの植物観察会 (4.9、5.14、6.11、9.10)</p> <p>【URL】http://www.parthenon.or.jp/museum/ 【Twitter】http://twitter.com/par_tama_museum 【Facebook】https://www.facebook.com/25thparthenon</p>	

23	東京都立埋蔵文化財調査センター 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。
開館時間	9:30～17:00 休館日 期間中はなし 入館料 無料 ☎ 042-373-5296
<p>31 年度の企画展示は「ひと×いきもの」、考古遺物から見た人と「いきもの」の多様な関係性についてご紹介いたします。</p> <p>●縄文の村 自然観察会 (4.13 午前)</p> <p>●縄文ワクワク体験まつり (4.27・28)</p> <p>●コハクの勾玉を作ろう (5.18 午前・午後)</p> <p>●勾玉・耳飾りを作ろう (6.8・8.22 午後)</p> <p>●第 1 回文化財講演会 (6.23 午後)</p> <p>●植物の繊維から糸を作ろう (6.29)</p> <p>●ガラスでトンボ玉を作ろう (7.6)</p> <p>●多摩の縄文土器を作ろう（親子向け）(7.20・7.21)</p> <p>●土偶レリーフを作ろう (7.25・8.1)</p> <p>●夏休特別企画①「学芸員に聞こう」（夏休み中の毎週木曜日 午前）</p> <p>●夏休特別企画②「学芸員と一緒に展示をみよう」（夏休み中の毎週水曜日）</p> <p>●折り紙で大昔の家をみよう (8.13・8.15 午後) 低年齢向け</p> <p>●縄文土器の文様を写し取ろう (8.8・8.13 午後) 低年齢向け</p> <p>●縄文土器の野焼き (8.17)</p> <p>【URL】https://www.tef.or.jp/maibun/</p>	

24	町田市立博物館 考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。
開館時間	9:00～16:30 休館日 月曜日（GW期間中は開館し、5/7 休館） 展示替 (4/8～4/19) 入館料 一般 300 円※中学生以下無料、障がい者半額 4/20 からの展覧会は無料公開 ☎ 042-726-1531
<p>●「近代ガラスデザインの先駆者－淡島雅吉」(2019.2.9～4.7) ガラスデザイナーの草分け的存在 淡島雅吉、代表作「しづくガラス」をはじめとする作品とともに活動の足跡をたどります。</p> <p>●「町田市立博物館最終展－工芸美術の名品－」(2019.4.20～6.16) 町田市立博物館は 6 月 16 日で閉館します。本展覧会では町田市立博物館 45 年間のコレクションのあゆみと、<赤>と<青>をテーマにしたガラス・陶磁器の名品展の 2 部構成で展示します。町田市立博物館の名品が会する最後の展覧会を無料で公開します。</p> <p>【URL】http://www.city.machida.tokyo.jp/ 【Twitter】https://twitter.com/machida_museum</p>	

25	町田市民文学館ことばらんど 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介。
開館時間	10:00～17:00 休館日 月曜日（祝日の場合は開館） 毎月第 2 木曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館） 入館料 無料 ☎ 042-739-3420
<p>●春の企画展「大日本タイポ組合展 文ッ字—いつもの文字もちょっと違って見えるかも」(4.20～6.30) 文字のデザイン的な魅力を探る展覧会。大日本タイポ組合の作品を通して、文字の造形的な面白さや、文字や言葉に新たな意味を付加するデザインの可能性を紹介。</p> <p>●関連イベント：文ッ字ファミ (4.27) グラフィックデザイナーやアーティストが来店する、文字に関する雑貨や文具、アクセサリーなどのフリーマーケット。</p> <p>【URL】https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08literature/index.html 【Twitter】https://twitter.com/machida_kotoba</p>	

12	武蔵村山市立歴史民俗資料館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。 分館 武蔵村山の戦争資料をもとに、戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）	入館料	無料	☎	本館：042-560-6620 分館：042-566-3977
<p>●常設展 丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～</p> <p>●ミニ企画展「狭山丘陵の自然」（3.9～5.31）狭山丘陵南麓に春から秋にかけて咲く花を中心に写真で展示。</p> <p>●企画展「栄村に行こう！！！！」（3.23～5.31）姉妹都市であり、豪雪地方で有名な栄村の植物を写真で展示、狭山丘陵との比較を楽しむ。</p> <p>●年中行事展「端午の節供」（4.13～5.5） ●年中行事展「七夕飾り」（6.29～7.7） ●夏休み親子体験教室「(仮)草木染め」（7.27・8.18の2回）</p> <p>分館：●常設展：戦時中（アジア・太平洋戦争）の武蔵村山</p> <p>【URL】http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html</p>							

13	立川市歴史民俗資料館 立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。						
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）※4/30〔火〕は休館とします	入館料	無料	☎	042-525-0860
<p>●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。</p> <p>●ミニ企画展「端午の節句」（4.9～5.12）市民のみなさまから寄贈された五月人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</p> <p>●企画展「新収蔵品展」（6.11～7.7）平成30年度に新たに寄贈された資料の一部を公開します。</p> <p>●ミニ企画展「七夕飾り」（7.2～7.7）季節に合わせて七夕飾りを展示します。</p> <p>●企画展「立川の遺跡 2019」（7.23～9.1）平成30年度に市内で出土した資料などを展示します。</p> <p>●写真展「立川駅前の変遷（仮）」（9.7～10.14）博物館実習生による企画展です。立川駅前の変遷を写真で紹介します。</p> <p>【URL】http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</p>							

14	日野市郷土資料館 日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）	入館料	無料	☎	042-592-0981
<p>●企画展 四季の植物（4.20～7.7）身近な植物や貴重な植物、日野の農作物など、日野の四季を彩る植物を写真で紹介します。また、植物の種のコレクションも展示します。</p> <p>●企画展 どつき土器展 2019 「大昔の多摩平」（7.13～11.10）現在は、マンションや市内有数の商業施設が立ち並ぶ多摩平。しかし、かつては「多摩平」という地名はありませんでした。多摩平という地名は、いつから使われるようになったのでしょうか？展示では、多摩平再開発の中で発掘された山王上遺跡などを中心に紹介します。</p> <p>※詳細についてはホームページをご参照ください。</p> <p>【URL】https://hino-museum.jp</p>							

15	首都大学東京 91 年館 大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。						
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料	☎	042-677-1111 内線 2041
<p>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。首都大学東京の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすくご紹介します。</p> <p>●大学祭期間特別公開（11.3～5）首都大学東京南大沢キャンパス大学祭「みやこ祭」にあわせて展示室を公開します。</p> <p>●その他の企画 ウェブサイト等で 知らせいたします。</p> <p>【URL】http://tmu-gakugei.jp/index.html</p>							

16	帝京大学総合博物館 帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。						
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時休館日	入館料	無料	☎	042-678-3675
<p>●ミニ企画展「Teikyo Art Annual-ひとのかたち-」（前期1.28～3.18 後期3.20～5.9）本学美術コレクションより、前期では「ひとのかたち」を描いた6点の作品、後期では本年度の新規収蔵作品を公開します。</p> <p>●ミニ企画展「本草学と薬用植物」（1.28～5.20）本学メディアライブラリーセンターが所蔵する、本草学の貴重書と薬学部所蔵の生薬標本などを紹介します。</p> <p>●ミニ企画展「狩野派から近代日本画へ」（1.28～5.20）本学が所蔵する、狩野探幽・横山大観・下村観山など江戸時代から明治時代にかけての日本画を通して、狩野派が近代日本画にどのように継承されたのかを紹介します。</p> <p>【URL】http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/</p>							

17	東大和市立郷土博物館 東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムクリエイター大平氏の投影機メガスターが評判。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 （プラネタリウムは有料）	☎	042-567-4800
<p>●プラネタリウム春番組（3.9～6.9） / プラネタリウム夏番組（6.15～9.8） / プラネタリウム秋番組（9.14～）</p> <p>●ロビー展示「狭山丘陵で学んだよ」（3.23～5.6） ●企画展示「七宝焼きで描く星たち」（3.23～5.19）</p> <p>●企画展示「日本と世界のクワガタ・ハナムグリ」（7.20～9.1） ●企画展示「吉岡堅二展」（9.21～10.27）</p> <p>●旧吉岡家住宅 春の公開（5.24～26）10:00～16:00 ●旧日立航空機株式会社変電所一般公開（毎月第2日曜日）13:00～16:00</p> <p>●その他各種講座を随時開催</p> <p>【URL】http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html</p>							

18	東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。						
開館時間	9:30～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料	☎	042-396-3800
<p>●春の企画展「税金今昔～租税資料から村がみえる～」（4.27～6.30）近世・近代の租税資料を読み解いて、そこから当時の東村山を紹介します。 付随事業：展示説明会（5.26、6.23）、古文書講座入門編（6.2、16）</p> <p>●夏休み対応展示「自由研究の種」（7.20～8.25）</p> <p>●資料整理のため臨時休館（9.2～9.6）</p> <p>◆東村山ふるさと歴史館 【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/index.html</p> <p>◆八国山たいげんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。</p> <p>【URL】https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</p>							

19	国立ハンセン病資料館 ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。						
開館時間	9:30～16:30 （入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎	042-396-2909
<p>●2019 年度春季企画展「キャンパスに集う～菊池恵楓園・金陽会絵画展」（2019.4.27～7.31）1953年の発足以来、質・量ともに高い水準の作品を生み出し続けてきた国立療養所菊池恵楓園（熊本県）の絵画クラブ・金陽会の絵画展をおこないます。隔離を象徴するコンクリート壁や納骨堂を描いた作品、引き離されたきょうだいや家族をモチーフとした作品、帰ることのできない故郷を懐かしんで描いた作品など、金陽会の代表的な作家10人による作品約30点が展示されます。（詳細は当館 Web サイト参照）</p> <p>●2019 年度「ハンセン病と人権」夏期セミナー（2019.7.26 10時～16時15分 途中昼休憩1時間）ハンセン病について広く知っていただくため、本年度も夏期セミナーを開催します。内容は映像視聴、ハンセン病 回復者による講話、学芸員らによるハンセン病の医学・歴史等に関する講義、館内見学（予定）。申込先着50名（申込開始は2019年5月中頃から）</p> <p>※両事業とも入場料、参加料無料。</p> <p>【URL】http://www.hansen-dis.jp/</p>							

20	くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	第2、第4木曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎	042-576-0211
<p>●ミニ展示「くにたちと災害」（5.25～7.7）災害について学ぶ機会として、くにたち郷土文化館が収蔵する、「関東大震災」および「太平洋戦争」に関する資料を紹介します。</p> <p>●夏季共催企画展「第8回くにたち陶芸展」（9.1～9.21）くにたち郷土文化館で活動する陶芸サークルと共催で、陶芸作品を発表します。展示期間中に関連事業として、対象年齢別の陶芸教室および電動ろくろ体験を行います。</p> <p>【URL】http://www.kuzaidan.or.jp/province/</p>							

21	たましん歴史・美術館 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。						
開館時間	10:00～18:00 （入館は17:30まで）	休館日	月曜日、GW 期間は開館（ただし、4.30、5.1、5.7は休館）祝日、年末年始	入館料	300円 ※中学生以下無料	☎	042-574-1360
<p>●生誕100年佐藤多持展～水芭蕉曼陀羅ノ果てしなき運動体～（前期4.2～5.12、後期5.18～6.30）</p> <p>生誕100年記念 トークセッション 佐藤多持を語る 4.13 14:00～15:30 ※13:30 開場</p> <p>ギャラリートーク 4.16、5.25 いずれも14:00～ スライドトーク 6.22 14:00～</p> <p>●「美術のぼうけん★」（7.20～9.15）</p> <p>スペシャルトーク①「画家の大岡澄雄さんと作品をたのしもう！」7.27 中学生以上対象 14:00～</p> <p>スペシャルトーク②「彫刻家の大塩英生さんと作品をたのしもう！」8.31 小学1～3年生対象 14:00～</p> <p>ギャラリートーク 7.20（土）未就学児※親子向け対象、8.24（土）小学4～6年生対象 ※いずれも14:00～</p> <p>【URL】http://www.tamashin.or.jp/</p>							